

博覽會

○開拓使

〔八年〕八月十四日達 東京出張所 農業課 究

出張所内舊假學校跡ニ於テ北海道物産縦觀所相設候條其課ニ於テ管轄致スヘシ

〔十年〕二月十三日 〔乙第 六號〕 布達

本年内國勸業博覽會開設ニ付内務省布達及出品區分目錄ニ照準精々勉勵出品致ヘク右資本金差支候者ハ當使ヨリ同事務局貸與ノ方法ニ基キ無利息ヲ以貸與可致候條三月三十一日限右博覽會出品概目錄丙號書式ニ準據目錄相認管轄廳へ可願出且右出品及出品人代理人共當使附屬船ニテハ半價ニテ運送取計ヘシ

(書式略)

○本廳

〔九年〕九月十六日 〔乙第百 十號〕 達

來十年三月十五日上野公園ニ於テ内國勸業博覽會開場候旨第百二號公布ノ通右ハ内務省規則ニ基キ有志ノ者共出品期限不致遷延様精々注意致スヘシ

〔十年〕三月五日 〔甲第十 四號〕 布達

本年二月當使乙第六號布達詮議ノ次第有之追テ何分ノ儀相達候迄見合

同月十一日 〔甲第二 十號〕 布達

本年内國博覽會ノ事務ニ屬シ候照會通報等ノ書類見本品雛形等ノ郵送ハ郵便規則第四條第三十二節ヨリ第三十七節迄ニ照準遞送候旨驛遞局ヨリ通知アリ

〔十一年〕七月五日 〔丙第二 十二號〕 達

内外國博覽會關涉ノ事務ハ自今物産局博物課ニ於テ擔當スヘシ

本月甲二三號ヲ以テ廢ス

〔十二年〕十一月十八日〔甲第五〕〔十三號〕布達

來ル十四年第二回内國勸業博覽會開設ノ儀ニ付内務大藏兩省甲第十一號布達ノ適當廳ニ於テモ施行ノ筈ニ候條各自其意ヲ得海陸物産天造人工ニ論ナク精々美良ノ物品ヲ出展シ永ク自他ノ名譽ヲ博シ廣ク公私ノ鴻益ヲ起スヲ期スヘク右出品概目錄ノ儀ハ來十三年一月二十日限舊區務所ヲ經テ當物産局博物課ヘ差出スヘシ尤該博覽會諸規則ノ儀ハ舊區務所ヘ下渡置

○十一月二十八日〔乙第六〕〔十三號〕達

來ル十四年第二回内國勸業博覽會開設ノ儀甲第十一號内務大藏兩省布達ノ通本使官民ニ於テモ該規則ニ基キ夫々出品可相成就テハ其事務管理ノ儀ハ物産局博物課ニ於テ擔當ノ筈ニ候得共各局分署ニ於テモ別表ニ照シ其吏員中ニ就テ委員ヲ設各局係ハ今ヨリ五日間各分署ハ往復ヲ除クノ外三日間ヲ限其人各届出ヘシ

(別表)

局	課	委員	局	課	委員	記	民	會
						公	事	計
						勸	警	租
						業	察	稅
						三	二	一
			工	物	學	業	務	分
			營	產	督	土	理	署
			繕	製	學	木	事	
			三	鍊	一	水	二	
			二	山	二	二	三	
			二	二	二	二	二	
			一	一	一	一	一	

〔十三年〕一月十四日〔達甲第〕〔六號〕布達

農事勸獎ノ爲本年十月札幌區後志通ニ於テ第二回農業假博覽會開設但出品ノ手續及開場ノ期日等ハ追テ布達スヘシ

○五月八日〔達甲第三〕〔十三號〕布達

札幌第二回農業假博覽會事務所ノ儀ハ當分民事局勸業課中ニ設置

本年九月甲七五號ヲ以テ南後志通十一番地ヘ移轉ス

同日〔達甲第三〕布達

〔十四號〕

本年一月第六號布達札幌第二回農業假博覽會出品目錄解說並概則別冊ノ通相定

(別冊)

甲號出品目錄解說

一年號月日 此野内ニハ出品概則ニ示セル期限ヲ愆ラサル爲各種ノ物品ヲ差出タル年月日ヲ記入スヘシ

一 郡村番地 此野内ニハ品主ノ姓名及郡區村町番地族籍職業ヲ記載シ實印ヲ捺ス若數名ニテ出品スルキハ何ノ某外幾人ト認又代人ニ托シ出品スルキハ品主姓名左傍ニ代人姓名ヲ署シ共ニ實印ヲ捺スヘシ

一 動物 此目錄ニハ牛馬羊豚鷺鷄其他禽獸類ヲ記入スヘシ

一 植物 此目錄ニハ穀物蔬菜果實ノ類ヲ記スヘシ

一 製造物 此目錄ニハ農具器械類及製造物蠶繭絲ノ類ヲ記スヘシ

〔物名〕此野内ニハ出品物ノ種名〔種類〕ノ野ニハ穀物ナラハ譬ハ米早稻 晚稻 小麥赤種 白種ノ類產地播種反別ノ野ニハ産出ノ地名及本年下種セシ反別蒔植採收ノ野ニハ何月ニ播種シ何月ニ刈取ノ類培養施肥ノ野ニハ何度何等ノ肥糞ヲ施シ何度草ヲ去ル等〔數量〕ノ野ニハ出品ノ員數〔賣價〕ノ野ニハ穀類一石ノ價果菜ハ一顆或ハ一把ノ價動物ハ一頭製物ハ一品ノ價年齡長短ノ野ニハ家畜ハ何歲何月何尺何等ノ類ヲ記スヘシ

(別表略)

乙號出品區分目錄解說

一 出品區分目錄ハ其概目ヲ掲ル者ナレハ都テ農業部分ニ屬スル物品ハ普ク出品スルヲ要ス

一凡穀菜種子及雜品ノ類豫メ出品數量ヲ定サレハ會場陳列ノ位置廣狹其宜ヲ得サルアリ乃チ出品ノ制限ヲ定ル如左

穀物種子ノ類 每種一斤

雜品ノ類 每品二百目或ハ二斤

蔬菜ノ類 每種五把或ハ五顆

動物及器械ノ類 制限ナシ

一試驗ニ係ル植物或ハ製鍊物ノ類ニシテ此制限ニ從ヒ難キ分ハ其事由ヲ詳記シ適宜出品スルヲ得

札幌第二回農業假博覽會出品區分目錄

○第一級 農業用家畜

牝牛牝ヲ論 短角種アツシヤ種、デウヲン種雜短角種本邦產牛

馬、農馬一雙、乘馬

牝綿羊牝ヲ論 メリノ種サウスダウン種リンコルンシエヤ種

牝豚牝ヲ論 ベルクシエヤ種、チエスタ―ホワイト種

○第二級 鳥

雄一羽 オイトブヲマ―ス種、ホワイト、レグホルン種本邦產鳥

雌二羽

七面鳥三羽

○第三級 穀物及草種子

家鴨牝ヲ論 三羽

玉蜀黍、大麥、小麥、燕麥、各數種 米、蕎麥、粟、草種子、豌豆、蠶豆、角豆、小豆、大豆

○第四級 蔬菜

馬鈴薯、南瓜、葱、麝香瓜、西瓜、茄菜、マンゴールトウワルツル、蕪菜、蘿蔔甘藍キャベツ、コールラビ、パアーメニツプ、胡蘿蔔、牛房

○第五級 雜品

麻、亞麻、茶種、葎草、果實、入參、煙草、絹繭、牛酪、麥酒、凝結牛乳

○第六級 器械類

北海道製農業器械並小道具輸入品同

外ニ開場中左ノ競争ヲ施行ス

耕鋤ノ競争(百五十坪牛馬力犁耙ヲ以テス)

整渠ノ競争(百五十坪鍬ヲ以テス)

草刈ノ競争(三十坪大鎌ヲ以テス)

以上每業其技術ノ巧拙ト時間ノ長短ニ由リ優劣ヲ考定ス

牛馬力ノ競争

札幌第二回農業假博覽會出品概則

第一條 札幌第二回農業假博覽會ハ明治十三年十月一日ヨリ同五

日迄日數五日間石狩國札幌區後志通ニ於テ開設ス

第二條 出品ハ天工人造ヲ論セス都テ管内農業ニ屬スル諸般ノ物

品ヲ可差出但函館根室兩支廳東京出張所七重勸業試驗場等ノ官

製ニ係ル物品ハ管外ト雖出品スルヲ得

第三條 出品セントスル者ハ甲號書式ノ出品目錄ヲ作り來八月三

十日限本會事務所ニ差出ヘシ

第四條 乙號區分目錄ハ其概略ヲ示シタル者ニシテ此他農業ニ屬

スル部分ノ物品ハ細大トナク出品スルヲ得

第五條 穀菜花卉ノ種子或ハ製造品ノ類數日ヲ經ルモ異狀ナキ者

ハ來九月二十日蔬菜果實其他腐損シ易キ物品ハ同二十五日動物

ハ同三十日限本會事務所ニ可差出但器械其他重大ニシテ容易ニ

運搬シ能ハサル物品ハ其形狀ヲ模造シ圖解ヲ添テ差出ヘシ

第六條 凡出品物ハ勉テ清淨ニシテ汚穢醜体ナキヲ要ス

第七條 内外博覽會或ハ共進會等ニ於テ褒賞ヲ得タル物品ニハ必

褒詞ノ寫又ハ賞牌ノ模型ヲ添テ差出ヘシ

第八條 出品目錄ニ賣價ヲ記入スル者ハ都テ賣買ヲナシ得ヘキ者

トス故ニ賣品ニ非ル者ハ必賣價ヲ記ス可ラス

第九條 出品中動物ハ開場時限外日々牽歸スヘシ若遠路ニシテ他ニ寄托スヘキ者ナキハ其情願ニ依リ會場内ニ絆置セシムル事アルヘシ

第十條 出品運送費及動物ノ飼料ハ自辨タルヘシ

第十一條 出品ハ可成本人付添ヲ要スト雖若事故アラハ代人ニ委託スルモ妨ナシ

第十二條 列品ノ精粗巧拙ヲ審査シテ優等ノ者ニハ相當ノ賞金ヲ與フヘシ但官ノ出品ニ係ル者ハ賞金ヲ與ルノ限ニ非ス

第十三條 陳列ノ物品ハ事務所ニ於テ相當ノ保護ヲ爲スト雖萬一盜難若クハ非常ノ災害ニ罹リ紛失毀損スル該所其責ニ任セス

○五月十四日〔達丁第五〕達〔十八號〕 達
舊分署設置中第二内國勸業博覽會出品委員撰舉届出置候處先般分

署相廢シ郡役所設置ニ付郡吏中ヨリ更ニ委員撰定届出ヘシ

○九月二十七日〔達乙第二〕達〔十九號〕 達
農業假博覽會開場式並閉場式別紙略ノ通

十月一日 開場式 十月五日 閉場式

○十月十三日〔達甲第八〕布達〔十七號〕 布達

札幌第二回農業假博覽會閉場ニ付本年九月達甲第七十五號布達當區南後志通十一番地該會事務所ヲ閉鎖シ右ニ係ル殘務ハ民事局勸業課中ニ於テ取扱

〔十四年〕九月三日〔達甲第二〕布達〔十四號〕 布達

本年九月二十日ヨリ十月九日迄日數二十日間石狩國札幌區大通農業假博覽會場跡ニ於テ本使外四縣秋田新瀉石川福井聯合米菴共進會開設規則別冊ノ通相定

(別冊)

開拓使外 米爾共進會規則
四縣聯合

第一章 總則

第一條 米爾共進會ハ開拓使外四縣新潟福井秋田石川聯合シ本年九月二十

日ヨリ十月九日迄二十日間北海道札幌博覽會場ニ於テ開設スヘ

シ

第二條 本會ハ各自平常ノ勤勉ヨリ顯出スル結果ヲ比較シテ其優

劣ヲ判定シ以改良ヲ將來ニ望ミ併セテ販路ノ擴張スルヲ目的ト

ス

第三條 本會ニ出品スル者ハ聯合使縣ノ人民ニシテ該地ニ在テ耕

作ト飼養トヲナス者ニ非レハ出品スルヲ得ス

第四條 本會ニ出品スル水田米ハ十三年爾ハ同十四年春産ノ者ニ

限ル

第五條 出品ノ米爾ハ各一升トス但小作人ノ出品ハ地主ノ姓名ヲ

肩書スヘシ

第六條 出品ハ之ヲ審査シ其優等ノ者ハ褒賞ヲ授與スヘシ但出

品者ニ非ルモ該品ニ就キ特別ノ功勞アル者ハ相當ノ賞與アルヘ

第七條 褒賞ヲ配與スル事左ノ如シ

一等賞

二等賞

三等賞

四等賞

五等賞

六等賞

第八條 出品目錄及申告書別紙書式ニヨリ各一通ヲ作り現品添九

月十日限本會事務所ヘ差出ヘシ

第九條 出品人往復旅費ハ自辨タルヘシ

第十條 出品ハ事務委員ニ於テ充分保護スヘシト雖不慮ノ災害ヨ

リ生スル損失ハ出品人ノ負擔タルヘシ

第十一條 場内取締ハ事務委員ノ責任トス故ニ出品人其他場内ニ

在テハ總テ委員ノ指揮ニ違背スルヲ得ス

第十二條 開會中出品ノ賣買ヲ約定スルハ勝手タルヘシト雖閉會後ニ非レハ搬出スルヲ許サス

第十三條 審査官ハ農商務省ヨリ派遣スル者トス

第十四條 總テ出品ハ左ノ項目ニ基キ審査アルヘシ

米ノ部

品質ノ良否

培養ノ周到

栽植ノ多數

産額ノ多數

發 明

功 勞

繭ノ部

光澤ノ良否

形狀ノ適否

繭ノ緊緩

齊整ノ多少

糸量ノ多少

解舒ノ難易

原質ノ精粗

糸ノ長サ

糸ノ量目

質類ノ多少

切斷ノ多少

發 明

功 勞

第二章 會場ノ部

第一條 開會中ハ公衆ノ入觀ヲ許ス但會場ノ都合ニヨリ觀客ノ人員ヲ限又ハ臨時入觀ヲ止ル事アルヘシ

第二條 觀客ノ場中ニ入者必通行札ヲ所持スヘシ尤一名一枚ニ限ル

第三條 通行札ハ場外適宜ノ場所ニ於テ可相渡但入場ノ際必之ヲ門候ニ出シ門候之ヲ收入ス

第四條 通行札ヲ所持スル者ト雖瘋癲及醉狂人ノ如キ他ノ妨害者ト見認ルキハ入場ヲ許サス或ハ會場ヨリ立去ラシムル事アルヘシ

第五條 出品主又ハ代理人ヘハ別ニ門鑑一枚ヲ渡置ヘシ入場ノ際必之ヲ門候ニ示スヘシ但他人ヘ貸與スルヲ許サス

第六條 手荷物傘杖等ヲ提携シ又ハ畜類ヲ牽テ入場スルヲ許サス

第七條 場内ニ於テ吸烟ヲ許サス

第八條 觀客ハ總テ出品主又ハ看護人ノ承諾ヲ得ニ非サレハ擅ニ

物品ニ觸ルヲ許サス

第九條 列品賣買約定ヲ爲ス者ハ證書ヲ取換セ約定濟ノ小札ヲ付

シ閉會ノ期ニ至買主ヘ渡ヘシ

第三章 出品者心得

第一條 出品者ノ望ニ依リ使縣事務委員ヘ一切ノ事件ヲ委托スルヲ得ヘシ

第二條 出品人ハ都合ニ依リ代理人ヲ出シ又ハ總代人ヲ出スモ妨ナシト雖成ヘク出品ノ解説爲シ得ル者ヲ擇フヘシ

第三條 米繭出品ノ際原價並賣價ヲ書出スヘシ

第四條 從前内外國博覽會又ハ共進會等ヘ米繭出品シテ褒賞ヲ得

タル者ハ必褒狀ノ寫或ハ賞牌ノ模型又ハ寫圖ヲ附スヘシ

同月九日〔達甲第百〕〔三十號〕布達

本年八月當廳達甲第百二十四號布達本使外四縣聯合米繭共進會事務所當區大通十號邸ニ開設本月八日ヨリ事務取扱

同月十七日〔達乙第〕〔十九號〕達

來二十日米繭共進會開場式執行

○十月二十九日〔達甲第百〕〔五十六號〕布達

當區大通十號邸本使外四縣聯合米繭共進會事務取扱所該會閉場ニ付右事務所ヲ閉鎖

○函館支廳

〔五年〕七月十七日〔第三十〕〔一號〕布達

今般採收候北海道物産爲取調致羅列置候ニ付本日午後一時ヨリ明後十九日四時迄右物品天神社内柳川ニ於テ展覽

(參照) 本廳
本年九月乙二〇號

〔九年〕十月十一日〔第九十〕布達來十年東京府下上野公園於テ内國

勸業博覽會ヲ開設出品ノ件

同日〔第七十〕達

來十年東京府下ニ於テ内國勸業博覽會ヲ被開候ニ付第百二號公布
及内務省甲第三十一號布達乙第九十一號達ノ趣意ニ基キ當支廳管
内各所ニ於テモ尤注意シ是迄産出ノ物品ハ固ヨリ新製新出ノ物品
等勵精取調可成丈遲緩不相成様差出方等夫々人民へ篤ト説諭ヲ加
ヘ地方物産ノ榮譽ヲ不失様取計ヘシ

〔十年〕三月二十一日〔第三十〕布達

内國勸業博覽會ノ義ニ付本使乙第六號布達中博覽會出品目錄丙號
書式^略ハ當廳民事課並各分署へ備置候條直轄市在ハ民事課其他ハ
各分署ニ於テ一覽ノ上資本金拜借ノ義本月三十一日迄ニ願出ヘシ
○九月二十五日〔第百〕布達

内務省甲第十四號布達十一年佛國巴里府萬國大博覽會諸規則爲心
得函館町會所其他各區務所へ下渡置候條同所ニ就キ閱覽致ヘシ

〔十一年〕四月三十日〔第四十〕布達

秋田縣下第一大區八橋村於テ十一年七月一日ヨリ日數六十日間博
覽會開設候旨通牒有之候條當管内諸物産及人造天造ノ珍器等出品
望ノ者ハ別冊^略規則ニ據リ來六月五日限申出ヘシ

〔十二年〕一月十六日〔第五〕布達

農事獎勵ノ爲本年十月函館海岸町ニ於テ第一次農業假博覽會開設

○四月十五日〔第三十〕布達

本年一第五號及布達置候第一次農業假博覽會出品概則別冊ノ通相
定候條右ニ照準シ洽ク出品可致但出品日限ノ儀ハ追テ可及布達且
出品表野紙ノ儀モ追テ頒布スヘシ

(別紙)

函館第一次農業假博覽會出品概則

第一條 出品ハ天工人造ヲ論セス總テ管内人民ノ農業ニ屬スル諸般ノ物品ヲ差出ヲ得ヘシ但管外ニ於テモ札幌本廳根室支廳東京出張所ノ官製ニ係ル物品及有珠郡移住民ニ限出品ヲ許ス

第二條 出品スル者ハ甲號^略之出品目錄各欄内ヘ乙號^略ノ事由ヲ詳記シ物品ニ添ヘ追テ設置セル本會事務取扱所ヘ差出ヘシ

第三條

第四條

第五條

第六條

第七條 都テ動物出品スル者ハ其飼料ハ自費ヲ以辨スル者トス但

第八條 動植物其他一切ノ出品遞送入費ハ都テ品主自辨タルヘシ

前ニ載スル札幌第二回同會出品概則第四條ニ同シ

同條第十二條ニ同シ

同條第六條ニ同シ

同上第八條ニ同シ

同條第九條ニ同シ

第九條 一切ノ出品ハ必本人ノ付添ヲ要セス代人ニシテ差出ス事

ヲ許ス

第十條 出品陳列中官之カ保護ヲ加フト雖非常災害毀損等ハ其責

ニ任セサル者トス

同日^{第三十}布達

本年第五號布達第一次農業假博覽會ノ儀來ル十月十一日ヨリ同十五日迄日數五日間開場午前九時ヨリ午後四時迄内外人民縱覽差許

同日^{第二十五}達^{郡區}吏宛

本月第三十一號農業假博覽會出品概則布達候ニ付テハ右旨趣管内一般洽ク貫徹候様盡力可致將出品セントスルニハ動物ノ養育植物ノ培養製造物ノ用意等各自平素ニ注意ヲ要スヘキニ付是等ノ儀モ懇諭致ヘシ

○五月二十四日^{第四十}達^{五號}

來十三年四月中獨逸國伯林府ニ於テ漁業博覽會開設當使ヨリモ出品ノ筈ニ付採集ノ事務當廳勸業係ニテ統理右手續等該係ヨリ通達可及候條都テ右手續ニ仍リ右持場内ノ産物治ク採集致ヘシ

○八月十五日〔第七十〕達〔四號〕

第一次農業假博覽會來ル十月一日開場

〔十三年〕七月三日〔第七十〕達〔一號〕第二回内國勸業博覽會ノ件

〔十四年〕三月十五日〔第十〕布達〔四號〕

第二回函館農業假博覽會本年十月二十一日ヨリ二十五日迄日數五日間開設シ出品概則並縦覽規則別册ノ通相定

(別册)

第二回函館農業假博覽會出品概則

第一條 出品ハ天造人工ヲ論セス都テ管内農業ニ屬スル物品ヲ可差出但札幌本廳根室支廳東京出張所官製ニ係ル者ハ出品ヲ得

本年十月本廳達申四八號ニ同シ

第二條 漁業工業商業ニ關スル物品ニシテ公衆ニ示シ或ハ從來實益

アル者ト見認ル者ハ特ニ出品ヲ許シ本會ノ傍陳列スル事アルヘシ

第三條 出品セントスル者ハ甲號書式ノ出品目錄ヲ作り八月三十日限差出ヘシ

第四條 乙號區分目錄ハ其概畧ヲ示タル者ニテ凡農業ニ屬スル物品ハ細大トナク出品スヘシ

第五條 出品ノ内數日ヲ經ルモ異狀ナキ者ハ來ル十月一日ヨリ五日迄及腐敗其他貴重ノ物品ニテ損シ易キ者ハ同五日ヨリ八日迄動物ハ同十四日可差出但器械其他重大ニシテ容易ニ運搬シ能ハサル物品ハ其形況ヲ模造シ圖解及説明書ヲ添テ差出スヘシ

第六條 凡出品物ハ勉テ清潔ニシ汚穢醜体ナキヲ要ス

第七條 内外博覽會或ハ共進會其他ニ於テ褒賞ヲ得タル物品ニハ必褒詞ノ寫又ハ賞牌ノ模型ヲ添フヘシ

第八條 出品目錄ニ賣價ヲ記入スル者ハ本會ニ於テ賣買ヲ爲シ得ヘキ者トス故ニ賣品ニ非ル者ハ目錄及現品ヘモ非賣ノ二字ヲ記入スヘシ

第九條 出品中動物ハ開場時限外日々牽歸スヘシ若遠路ニシテ他ニ寄托スヘキ者ナキハ其情願ニ依リ會場内又ハ適宜ノ場所ニ繫置シムル事アルヘシ

第十條 出品運送費及動物ノ飼料ハ自辨タルヘシ

第十一條 出品ハ可成本人付添ヲ要スト雖若事故アルキハ他人ニ委托スルモ妨ナシ

第十二條 列品ノ精粗巧拙ヲ審査シ優等ノ者ヘハ賞金ヲ與フヘシ但官ノ出品ニ係ル者ハ本條ノ限ニ非ス

第十三條 出品物ハ本會事務所ニ於テ相當ノ保護ヲ爲スト雖萬一盜難若クハ非常ノ災害ニ罹リ紛失毀損スルモ其責ニ任セス

甲 出品目錄解說

一明治年月日 此野内ニハ出品概則ニ示ス期限ヲ愆ラサルカ爲各種ノ物品ヲ差出シタル年月日ヲ記入スヘシ

一郡區町村番地 此野内ニハ品主ノ姓名及郡區町村番地族籍職業ヲ記載シ實印ヲ捺ス若數名ニテ出品スルキハ何ノ某外幾人ト認メ又代人ニ托シ出品スルキハ品主姓名ノ左傍ニ代人ノ姓名ヲ記シ共ニ實印ヲ捺スヘシ

一動物 此目錄ニハ牛馬羊豚鷄雞其他農業用禽獸類ヲ記入ス而シテ其餘白ヘ左ノ体裁ニ倣ヒ説明ヲナスヘシ

説明書

一牛 五分雜種或ハ七分雜種或ハ西洋種 產地名何某ノ育養セシ者ニテ父母ハ何國何郡區町村或ハ外國種ナラハ何國產ナルヲ記スヘシ 使役ハ運搬或ハ耕犁等又肉牛カ或ハ乳牛ナラハ搾乳一日何

斗何升何合許ヲ得ルヤヲ記スヘシ

飼料ハ何々ヲ糞或ハ水浸或ハ挽碎セシ者一日何程ヲ與ル等都テ牧育ノ要領ヲ記スヘシ

一馬 雜種類産地等牛ノ部ニ準シ記スヘシ

使役ハ運搬或ハ耕犁或ハ騎等都テ其長スル所ヲ記スヘシ
飼料及牧育等牛ニ同シ

一羊 種類産地等前ニ同シ

肉或ハ毛ヲ得ルヲ目的トス刈毛ハ何斤許

飼料牧育等前ニ同シ

一豚 種類産地等前ニ同シ

肉ノ斤量

一鳥 産地及育養飼餌ハ何々ヲ何程與フ又ハ一ケ年産卵ノ數等都テ其益スル所ヲ記スヘシ

一物 此目錄ニハ穀物蔬菜果實ノ類ニ記入スルニテ其餘白へ左ノ
体裁ニ倣ヒ説明ヲナスヘシ

一物品ハ一反ニ付種子何程ノ割合ニシテ收穫高何石何斗何升何合ヲ得尤前年ニ比較スレハ何程増若クハ減セリ是ハ何々ノ爲此差違アルト思ハル之ヲ收穫スルノ後又何々ノ種子何程ノ割合ニテ收穫高何石何斗何升何合アリ

一何々ハ本年初テ播種セシ者ナレハ次年ノ比較ニ由リ増減セントス其外之ニ準シ意見アル者ハ記入スヘシ

一製造物 此目錄ニハ農具器械類及製造物蠶繭絲ノ類ヲ記シ其餘白へ左ノ体裁ニ倣ヒ説明ヲナスヘシ

一ケ年間營業資本金何程ヲ目的トシ例ハ製造素品他ノ輸入ニ係ル者ナレハ多クハ何レノ地ヨリ購入若クハ自製ノ物品ヲ用ヒ雇入ハ常ニ何名内外ヲ雇使セリ且製造品ハ何地方ニ輸出シ

既ニ本年賣却スル高何程ニシテ其價格金何程ニ至レリ
其外之ニ準シ意見アル者ハ記入スヘシ

(物品)此野内ニハ出品ノ種名(種類)ノ野ニハ穀物ナラハ例ヘハ
早稻陸ノ類(產地播)ノ野ニハ産出ノ地及本年下種セシ反別(蒔植
稻晚種ノ類(種反別)ノ野ニハ産出ノ地及本年下種セシ反別(蒔植
ノ野ニハ何月ニ播種シ何月ニ刈取ノ類(培養)ノ野ニハ何度何等
ノ肥糞ヲ施シ何度草ヲ去ル等(數量)ノ野ニハ出品ノ員數(賣價)
ノ野ニハ都テ出品セシ高ノ代價(年齢)ノ野ニハ家畜ハ何歳何月
何尺何寸等ノ類ヲ記スヘシ

乙 出品區分目錄解說

一 出品區分目錄ハ其概目ヲ掲ル者ナレハ都テ農業部分ニ屬スル物
品ハ普ク出品スルヲ要ス
一 凡穀菜種子及雜品ノ類豫メ出品ノ數量ヲ定サレハ會場陳列ノ位
置廣狹其宜ヲ得サルアリ乃チ出品ノ制限ヲ定ル如左

穀物種子ノ類 每一升

牧草及草花ノ類 每十貫目 或ハ草花ハ
種類一棟

雜品類 每二百目 或ハ
二斤

苗木類 每三本

蔬菜果實ノ類 每三把 或ハ
五顆

動物及ヒ器械ノ類 制限ナシ

一 試驗ニ係ル植物或ハ製練物ノ類ニシテ此制限ニ從ヒ難キ分ハ其
事由ヲ詳記シ適宜出品スル事ヲ得

出品區分目錄

第一 農業用家畜禽獸

第二 穀物及種子類

第三 蔬菜果實

第四 牧草及草花

第五 苗木

第六 農業器械類 但衆ニ示ス爲
内外輸入品

第七 製練物

外開場中左ノ競争ヲ施行ス

耕鋤ノ競争 牛馬力犁耙ヲ以テス

鑿渠ノ競争 鍬ヲ以テス

草刈ノ競争 大鎌ヲ以テス

以上每業其技術ノ巧拙ト時間ノ長短トニ由テ優劣ヲ考定ス

牛馬力ノ競争

○根室支廳

本年二月乙六號木使布
達ニ同シ

〔十年〕三月十七日〔第十號〕達内國勸業博覽會出品ノ件

本年五月四五號函館支
廳達ニ同シ

〔十二年〕六月十三日〔丙第三十五號〕達獨逸國伯林府漁業其他博覽會出品
ノ件

本年十月達
木廳甲四八號ニ同シ

〔十三年〕二月十日〔甲第二號〕布達十四年第二回内國勸業博覽會開設ノ
件

鳥獸虫害

○公達

〔十四年〕七月二日

其使管下日高國ニ於テ昨年發生ノ飛蝗孳化再發ニ付テハ驅除方ニ
盡力ノ趣ニ相聞候得共此上蔓延候テハ容易ナラサル義ニ付一層盡
力奏効候様可致此旨相達候事

○本廳

〔七年〕四月二十九日浦河支廳達

各郡移住民開墾地へ折々馬放シ込夫カ爲作物ヲ妨害シ迷惑ノ者不
少凡何事ニヨラス惡業アレハ其筋ニ請テ處分ヲ可受ハ勿論ノ事ニ